

事務事業名	地域歴史資料整理・保存事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 昭和46年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
個人などが所蔵する地域の歴史的資料		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	1,224	1,747	1,922
	人件費	3,723	4,170	1,489
目 的	総事業費	4,947	5,917	3,411
地域歴史的資料を市民共通の財産として将来にわたり引き継ぐとともに、活用可能な状態とします。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		1,922
		合 計		1,922
・中性紙の封筒・箱に収納するとともに、目録を整備します。	活動指標1	名称	マイクロフィルム撮影コマ数	単位 コマ
		内容説明	資料をマイクロフィルム撮影したコマ数	
		指標値	3年度	4年度（当該年度）
			予 定	4,000
			実 績	3,462
・保存と活用のためマイクロフィルムなどへ媒体変換（複製作成）します。	活動指標2	名称	製本数	単位 冊
		内容説明	各資料を保存のため製本した冊数	
		指標値	3年度	4年度（当該年度）
			予 定	30
			実 績	35
・歴史的資料が欠けている分野と時期については、資料を補完するため、聞き取り調査を実施します。	活動指標3	名称	史料の記録作業等件数	単位 件
		内容説明	記録と保存作業（整理・目録化・点検・分類）を行った件数	
		指標値	3年度	4年度（当該年度）
			予 定	300
			実 績	123
成 果（効果・予測）	活動指標4	名称		単位
		内容説明		
		指標値	3年度	4年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
・地域の歴史資料を未来へ継承することができます。	課 題		3年度	4年度（当該年度）
			予 定	200
			実 績	350
			3年度	4年度（当該年度）
			予 定	
・市域の歴史資産の概要が把握され、活用可能となります。	課 題		3年度	4年度（当該年度）
			予 定	300
			実 績	123
			3年度	4年度（当該年度）
			予 定	
・地域の歴史を調べようとする者にとって、資料活用が可能となります。	課 題		3年度	4年度（当該年度）
			予 定	300
			実 績	123
			3年度	4年度（当該年度）
			予 定	
・個人が所蔵する資料（昭和48年頃に近世文書を主な対象として実施した悉皆調査時に簡単な資料整理を行ったもの）について、今後の長期保存を目的とした再整理作業を実施する必要があります。	課 題		3年度	4年度（当該年度）
			予 定	200
			実 績	350
			3年度	4年度（当該年度）
			予 定	
・個人が所蔵する近・現代資料についても、資料保存や活用についての相談や依頼があり、それらについても調査・保存・整理作業を実施する必要があります。	課 題		3年度	4年度（当該年度）
			予 定	200
			実 績	350
			3年度	4年度（当該年度）
			予 定	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	各家が所蔵している資料の整理・目録化を計画的に進めます。また、資料の解読作業および資料の複製を行い、資料利用の道を開きます。毎年一定の予算により一定量の整理を継続的に進めるとともに、資料の媒体変換も予算に応じ、着実に進めていきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	2年度	3年度	4年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	本事業は、地域の歴史的資料を市民共有の財産として保存、活用するものであり、個人が所蔵している歴史的価値の高い資料の散逸・廃棄を避けるため、今後も継続的に市が関与する必要性はあると考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	2年度	3年度	4年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	本事業では、歴史資料の目録を整備するとともに、資料の内容や状態、利用の状況等に応じ、適切な方法で保存を行っており、これを継続していくことで、事業の意図する成果を得ることができると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	本事業の経費は、歴史資料整理に係る謝礼、マイクロフィルム撮影及びCD作成費などとなっており、その額については適正な水準で予算執行しています。また、人件費は、資料を補完する聞き取り調査や所有者からの相談等に対応したものであり、必要最小限の費用となっています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	地域の歴史資料は市民共有の財産であり、受益・負担は公平です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	2年度	3年度	4年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	地域の歴史的資料の保存・活用に取り組むことで、SDGsの住み続けられるまちに必要な不可欠な技術・経験を伝えることができると考えます。

事務事業名	文化芸術振興事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和28年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				（単位：千円）		
市民			3年度（決算額）		4年度（決算額）		5年度（予算額）	
		事業費	4,613		7,587		6,330	
		人件費	9,677		9,677		9,681	
目 的		総事業費	14,290		17,264		16,011	
市民の文化芸術活動の発表の場及び芸術鑑賞の機会を提供します。		5年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金		0				
		県支出金		0				
		市債		0				
		その他		25				
		一般財源		6,305				
		合 計		6,330				
手段、手法【実施手法：直営・委託】								
・文化祭、文芸祭を開催し、一般公募による文化芸術作品等の発表を行います。 ・コミュニティ音楽館を開催します。 ・芸術文化ホール等で文化芸術事業（委託）を開催します。 ・文化芸術団体や財団などと連携協力しながら、YAMATO ART100プロジェクトを実施します。 ・文化芸術情報サイト「大和文化百花」を活用し、情報発信を行います。		活動指標1	名称	文化芸術作品の展示日数			単位	日
			内容説明	文化祭・文芸祭で一般公募展を開催した日数				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定	23	23	24	
成 果（効果・予測） ・市民の文化芸術活動の裾野を広げることができます。		活動指標2	指標値	実 績	23	24	――	
				名称	コミュニティ音楽館の開催日数			単位
			内容説明	コミュニティセンターで音楽会を開催した日数				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
予 定	15	15		15				
課 題 より多くの市民に開かれた事業を実施するための方策について、常に検討する必要があります。		活動指標3	指標値	実 績	0	14	――	
				名称	YAMATO ART100の開催日数			単位
			内容説明	YAMATO ART100として開催した日数				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
予 定	100	100		100				
		活動指標4	指標値	実 績	100	100	――	
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績			――	
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				
				内容説明				
			指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度		
				予 定				
			指標値	実 績				

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	2年度	3年度	4年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	本事業は、文化芸術を創造し、享受する権利を保障するため、すべての市民が文化芸術に触れ、親しむことのできる機会を提供するものであり、積極的に市が関与していく必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	2年度	3年度	4年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	A	A	B	本事業では、様々なジャンルの文化芸術の公演、展覧会を実施、発信していますが、産業、観光、まちづくりなど他分野と連携することで、さらなる事業成果を生み出すことができると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	本事業で行う文化芸術イベントは、民間が効果的、効率的なサービスを提供できるものについては、積極的に委託を推進しています。また、人件費は、文化芸術イベントの運営、文化芸術情報の発信のために要したもので、求められるサービス水準を踏まえると、適正であると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	本事業は、すべての市民を対象に文化芸術のイベントを実施しており、受益の公平性および負担は適正と考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	2年度	3年度	4年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	本事業で行う文化芸術イベントでは、年齢、国籍の違い、障がいの有無にかかわらず、あらゆる市民が参加できるように企画、運営を行っています。

事務事業名	文化財普及啓発事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち			
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する			
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている			
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要								
対 象		総事業費 (単位：千円)						
市民			3年度（決算額）		4年度（決算額）		5年度（予算額）	
		事業費	564		522		654	
		人件費	2,105		1,797		1,828	
目 的		総事業費	2,669		2,319		2,482	
市民に身近な文化財を知ってもらうことで、郷土意識を高めます。		5年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金		0				
		県支出金		0				
		市債		0				
		その他		0				
		一般財源		654				
		合 計		654				
手段、手法【実施手法：直営】								
文化財愛護講座を開催します。また、文化財案内板などの維持管理を行います。								
3. 活動内容								
活動指標 1	名称	文化財愛護講座の開催数					単位	回
	内容説明	文化財愛護講座の回数						
	指標値			3年度	4年度（当該年度）	5年度		
		予 定		1	1	1		
		実 績		1	1	――		
活動指標 2	名称	文化財防火デーの消防訓練実施回数					単位	回
	内容説明	郷土民家園で実施する消防訓練の回数						
	指標値			3年度	4年度（当該年度）	5年度		
		予 定		1	1	1		
		実 績		1	1	――		
活動指標 3	名称	文化財案内板の維持管理件数					単位	基
	内容説明	維持管理している案内板、標柱の件数						
	指標値			3年度	4年度（当該年度）	5年度		
		予 定		82	82	82		
		実 績		82	82	――		
活動指標 4	名称	博物館実習修了者数					単位	人
	内容説明	所定の実習を修了した実習生数						
	指標値			3年度	4年度（当該年度）	5年度		
		予 定		3	3	3		
		実 績		3	3	――		
課 題								
文化財案内板の老朽化が進んでいるため、補修・建て替えなどが必要です。								

4. 今後の方針等					
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度 I：現状のまま継続
	文化財愛護講座および消防訓練等を継続的に実施していくほか、文化財案内板等の修繕は経年劣化の著しいものから計画的に行います。文化財愛護講座や各種行事の開催案内などは、ホームページや広報やまなどの媒体を用いて、広く市民へ周知していきます。				

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	2年度	3年度	4年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	本事業は、郷土の歴史と文化への愛着と理解を深めるために重要な役割を果たしており、民間の活動と競合するものではないことから、市が実施すべき事業として妥当性が高いと考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	2年度	3年度	4年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	文化財愛護講座の開催やホームページでの情報発信など、様々な方法で文化財への理解の深化を図っており、今後も市民に評価されるような企画を継続していくことで、事業の意図する成果を得ることができると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	本事業で設置している文化財案内板は、経費を可能なかぎり抑えるため、計画的かつ効率的に修繕を行っています。人件費については、普及啓発イベントの運営、文化財情報の発信のために要したもので、必要最小限の費用となっています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	市民共有の財産である文化財を理解し次世代に継承するための事業であり、受益・負担は適正です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	2年度	3年度	4年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	事業への参加方法や周知方法を工夫するなど、事業実施にあたって社会的配慮を十分に行っています。

事務事業名	文化創造担い手育成事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果		文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成23年度				設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象		総事業費 (単位：千円)			
芸術活動を行う若手アーティスト			3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
		事業費	2,008	1,981	2,211
		人件費	4,466	3,722	4,468
目 的		総事業費	6,474	5,703	6,679
これからの文化創造を牽引する若い世代の発表活動の支援を行うとともに、市民が日常生活の中で文化芸術を感じ、楽しめる機会を提供します。		5年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0	
		県支出金		0	
		市債		0	
		その他		0	
		一般財源		2,211	
		合 計		2,211	
手段、手法【実施手法：直営】					
・公募型の「YAMATOイラストレーションデザインコンペ」を開催します。					
・コンペ入賞者の作品等を活用して、イラストレーションを日常の生活空間の中に取り入れる取り組みを行います。					
成 果（効果・予測）					
・若者の創造活動の意欲が喚起され、本市の文化芸術の活性化につなげることができます。					
・市政とのかかわりが薄い若い世代のまちづくりに対する関心を高めることができます。					
・大和の文化的なまちのイメージアップを図ることができます。					
課 題					
イラストレーションを通じて、魅力的な生活空間を創り出していくためには、民間事業者の協力が不可欠であり、入賞者の活用を促進するためのPRを定期的に行っていく必要があります。					

3. 活動内容						
活動指標 1	名称	YAMATOイラストデザインコンペ作品数			単位	点
	内容説明	YAMATOイラストデザインコンペに応募のあった作品数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	500	500	500	
		実 績	511	478	――	
活動指標 2	名称	作品展等の開催回数			単位	回
	内容説明	イラストレーションに関するイベント・展覧会の開催回数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	1	1	1	
		実 績	0	1	――	
活動指標 3	名称	コンペ入賞者等の制作依頼件数			単位	件
	内容説明	コンペ入賞者にイラスト制作を依頼した年間件数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	20	20	20	
		実 績	20	21	――	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等						
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	イラストあふれる魅力的なまちづくりを推進するため、今後も入賞者のイラスト活用を進めていきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	2年度	3年度	4年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	大和市文化芸術振興条例では、文化芸術の振興にあたっての基本理念の一つとして、「未来に向け新たな文化芸術を創造する」ことを掲げています。その実現のためには、次代の文化芸術を牽引する担い手を市内に増やしていくことが重要であり、本事業に市が関与していく必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	2年度	3年度	4年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	本事業は、コンペによって発掘された優れた人材を活用し、民間事業者にも協力をいただきながら、より多くの市民がイラストを身近に楽しめる魅力的なまちづくりを推進するものです。現在の実施手法を継続していくことで、事業の意図する成果を得ることができると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	事業費は、全体の必要経費を精査したうえで可能な限り一般財源の支出の抑制に努めました。人件費は、コンペの運営に係る経費と、入賞者及び制作依頼者との調整に要した経費であり、業務量に見合った適正な水準であると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	若者の発表活動の支援という事業目的を踏まえ、コンペの応募対象を全国の若者、応募料を無料としていることから、受益・負担ともに偏りはなく、公平性は保たれています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	2年度	3年度	4年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	入賞作品及び入選作品をPRするために作品をホームページに掲載するなど、本事業について周知を行いました。イラストコンペの作品募集については、コロナ禍であったにもかかわらず様々な媒体を使い広く情報提供を行ったことにより、多くの応募がありました。

事務事業名	美術鑑賞推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成23年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				(単位：千円)					
市立小学校			3年度（決算額）		4年度（決算額）		5年度（予算額）				
		事業費	6,018		6,149		6,165				
		人件費	3,722		3,722		3,724				
目 的		総事業費	9,740		9,871		9,889				
美術鑑賞教育の推進を図ります。		5年度事業費（予算額）財源内訳									
		国支出金		0							
		県支出金		0							
		市債		0							
		その他		0							
		一般財源		6,165							
		合 計		6,165							
手段、手法【実施手法：委託】											
・美術鑑賞教育をサポートするガイドスタッフを育成します。 ・小学校における対話による美術鑑賞授業にガイドスタッフを派遣します。 ・ボランティア発掘につなげるための取り組みを進めます。		3. 活動内容									
		活動指標 1	名称	ガイドスタッフ育成研修の開催回数				単位	回		
			内容説明	ガイドスタッフ育成のための研修の開催回数							
			指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度				
予 定	20			20	20						
成 果（効果・予測）	・観察力や思考力、コミュニケーション力などを育て、子どもの豊かな情操を養うことができます。	活動指標 2	指標値	実 績	17	15	――				
				名称	ガイドスタッフを派遣した学校数				単位	校	
		活動指標 3	内容説明	ガイドスタッフを派遣した学校数							
				指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度			
					予 定	19	19	19			
					実 績	15	19	――			
課 題		活動指標 4	名称					単位			
				指標値	3年度					4年度（当該年度）	5年度
					予 定						
					実 績			――			
本事業の目的を達成するためには、優秀なガイドスタッフが不可欠であり、こうした人材を継続的、計画的に発掘、育成していく必要があります。		活動指標 5	内容説明								
				指標値	3年度		4年度（当該年度）	5年度			
					予 定						
					実 績			――			

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	市立小学校全校で対話による美術鑑賞授業が円滑に実施できるよう、引き続き、ガイドスタッフの育成、支援を行っていきます。					
	〔第2期「健康都市やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業〕					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	2年度	3年度	4年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	文化芸術振興条例では、次代を担う子どものための施策に注力することを掲げています。本事業はその施策を具現化するため、市、教育委員会、市民、認定NPO法人がそれぞれの役割を果たしながら連携して実施しており、継続的に市が関与していく必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	2年度	3年度	4年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	優秀なガイドスタッフの育成が進められていることから、各学校の要望に応える鑑賞プログラムの展開が可能となっています。このような人材の更なる育成、発掘のため、認定NPO法人の豊富な知識とノウハウを活用することが事業を実施するうえで最も効果的であると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	事業費はガイドスタッフの募集、育成および発掘するための費用です。事業を安定的に実施するためには高度な専門性を持った人材が多く必要であり、継続的な研修が必須となることから、それに見合った経費になっていると考えます。人件費は関係機関との調整を行うための必要最低限の経費となっています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	ガイドスタッフは、美術の知識の有無にかかわらず、誰もが応募できるものであることから、受益の偏りはなく、公平性は保たれています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	2年度	3年度	4年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	ガイドスタッフ募集の際は、市の広報やホームページのほか、動画を制作して広く情報発信を行いました。

事務事業名	芸術文化ホール管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち			
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する			
	めざす成果		文化や芸術に親しむ人が増えている			
根拠法令	名 称	文化芸術基本法				
		劇場・音楽堂の活性化に関する法律				
当該事業の法令等による義務付けの有無			一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
	平成27年度				設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
やまと芸術文化ホール		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	289,722	294,246	294,378
	人件費	2,605	2,605	2,606
目 的	総事業費	292,327	296,851	296,984
やまと芸術文化ホールの円滑な管理運営を行います。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営・委託・指定管理】 ・指定管理者による管理運営を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		294,378
		合 計		294,378

3. 活動内容

活動指標1	名称	開館日数		単位	日
	内容説明	芸術文化ホールの開館日数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	360	359	359
		実 績	360	359	――
活動指標2	名称	利用者数		単位	人
	内容説明	ホール、ギャラリー、マルチスペース利用者数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	250,000	200,000	250,000
		実 績	99,156	172,714	――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	今後も、指定管理者等と管理運営に関する課題について定期的に情報共有しながら、円滑かつ適切な管理運営の実現に努めていきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	2年度	3年度	4年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	本事業は、市が設置する芸術文化ホールを円滑に管理運営するためのものであり、今後も継続的に市が関与する必要性があると考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	2年度	3年度	4年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	本事業では、定期的に指定管理者と協議を行い、芸術文化ホールの管理運営に関する課題や問題点について随時対応を行っています。その結果、民間事業者が持つ知識、経験を活かした管理運営が行われており、現在の手法を継続していくことで、十分な成果を得ることができる考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	主な事業費である施設の指定管理料は、第1期指定管理での活動を踏まえ、業務内容を精査したうえで決定しています。人件費は、指定管理者との協議などに要したものであり、円滑に管理運営するうえでの必要経費として適正な水準にあると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	芸術文化ホールは、全ての市民が利用できる施設として管理運営を行っており、受益の公平性は保たれています。また、条例に定める利用料金については、他の公共ホールの料金等を勘案しながら設定しており、利用者の負担は適正なものと考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	2年度	3年度	4年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	ホームページや駅の案内板を活用し、積極的な情報提供を行うとともに、バリアフリーコンサートを定期的実施するなど、誰もが気軽に文化芸術に触れられる機会を提供しています。

事務事業名	歴史的公文書収集整理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	公文書館法(昭和63年6月1日施行)		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和56年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				(単位：千円)			
大和市の行政機関、行政委員会などの保存年限満了公文書（歴史的公文書）			3年度（決算額）		4年度（決算額）		5年度（予算額）		
		事業費	2,635		2,819		3,001		
		人件費	3,723		4,914		2,234		
目 的		総事業費	6,358		7,733		5,235		
歴史的公文書を収集・保管し、市民へ情報提供可能な状態とします。		5年度事業費（予算額）財源内訳							
				国支出金		0			
				県支出金		0			
				市債		0			
				その他		0			
				一般財源		3,001			
				合 計		3,001			
手段、手法【実施手法：直営】		3. 活動内容							
・廃棄される公文書のなかから歴史的な価値のある記録を選別・収集し、整理・目録化を行い、保存します。 ・行政刊行物を収集・保存します。 ・歴史的公文書のうち必要な資料については媒体変換（複製作成）を行います。		活動指標1	名称	歴史的公文書の選別実施量				単位	箱数
			内容説明	選別作業の対象とした廃棄公文書の量（文書保存箱数）					
			指標値			3年度	4年度（当該年度）	5年度	
				予 定		100	100	100	
				実 績		128	68	――	
成 果（効果・予測）		活動指標2	名称	マイクロフィルム化処理のコマ数				単位	コマ数
歴史的公文書が市民共有の知的資源として将来にわたり引き継がれます。あわせて、これまでの行政活動について市民へ説明する責務を果たすことができます。			内容説明	資料をマイクロフィルム撮影したコマ数					
			指標値			3年度	4年度（当該年度）	5年度	
				予 定		2,000	2,000	2,000	
				実 績		1,600	1,926	――	
課 題		活動指標3	名称	整理済みの資料数（累計）				単位	箱
			内容説明	整理済みの資料を収納した保存箱数の累計数					
			指標値			3年度	4年度（当該年度）	5年度	
				予 定		1,620	1,740	1,990	
				実 績		1,599	1,889	――	
歴史的公文書の効率的な整理手法を検討するとともに、これらを保管する書庫や閲覧スペースの確保について検討を継続する必要があります。		活動指標4	名称					単位	
			内容説明						
			指標値			3年度	4年度（当該年度）	5年度	
				予 定					
				実 績				――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	収集した資料の整理作業を継続して進めていきます。					

事務事業名	大和州市史編集発刊事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和46年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	3,834	5,961	1,533
	人件費	15,186	10,273	8,936
目 的	総事業費	19,020	16,234	10,469
手段、手法【実施手法：直営】	5年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金		0	
・専門家による市域の歴史事象に関する論文等を掲載した『大和市史研究』を隔年で発行します。 ・市域の歴史資料について解説を加えた『大和市史資料叢書』を発行します。 ・令和4年度に大和市域の災害の歴史についてまとめた『大和市の災害史』を発行します。	県支出金		0	
	市債		0	
	その他		0	
	一般財源		1,533	
	合 計		1,533	

3. 活動内容

活動指標1	名称	『大和市史研究』発行回数			単位	回
	内容説明	『大和市史研究』は隔年で発行しています。				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	0	1	0	
		実 績	0	1	――	
活動指標2	名称	『大和市史資料叢書』発行回数			単位	回
	内容説明	『大和市史資料叢書』は隔年で発行しています。				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	1	0	1	
		実 績	1	0	――	
活動指標3	名称	『大和市の災害史』発行回数			単位	回
	内容説明	『大和市の災害史』は令和4年度に発行します。				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	0	1	0	
		実 績	0	1	――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	歴史情報の提供について、若年層から高齢者までの幅広い年代の歴史探求の需要を満たせるよう、引き続き継続していきます。 令和4年度に大和市域の災害の歴史についてまとめた『大和市の災害史』を発行しました。					

事務事業名	文化会館建設基金管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和47年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位：千円)
大和市の文化施設		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）	
	事業費	1	10	102	
	人件費	744	744	745	
目 的	総事業費	745	754	847	
文化施設建設等の財源を確保するための基金を適正に管理します。	5年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0	
		県支出金		0	
		市債		0	
		その他		102	
		一般財源		0	
		合 計		102	
手段、手法【実施手法：直営】					
・市民、ポータルサイトを通じた寄附金等を基金として積み立て、その利子及び原資を適正に管理します。					

3. 活動内容

活動指標1	名称	寄附金受入れ件数			単位	件
	内容説明	1年間に寄附金を受け入れた件数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	2	4	7	
		実 績	4	7	――	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	文化施設の建設、施設充実に資する改築や大規模修繕等の貴重な財源として、引き続き適正な管理を行います。					

事務事業名	生涯学習振興基金管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果		文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成14年度				設定無し

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費 (単位：千円)					
市民の文化芸術及び生涯学習の振興、普及活動			3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）		
		事業費	31	30	102		
		人件費	744	744	745		
目 的		総事業費	775	774	847		
市民の文化芸術及び生涯学習の振興、普及を図るための基金を適正に管理します。		5年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金		0			
		県支出金		0			
		市債		0			
		その他		102			
		一般財源		0			
		合 計		102			
手段、手法【実施手法：直営】							
・市民、ポータルサイトを通じた寄附金等を基金として積み立て、その利子及び原資を適正に管理します。							
3. 活動内容							
活動指標1	名称	寄附金受入れ件数				単位	件
	内容説明	1年間に寄附金を受け入れた件数					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度		
		予 定	2	6	8		
		実 績	6	8	――		
活動指標2	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度		
		予 定					
		実 績			――		
活動指標3	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度		
		予 定					
		実 績			――		
活動指標4	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度		
		予 定					
		実 績			――		
課 題							
特にありません。							

4. 今後の方針等					
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度 I：現状のまま継続
	市民の文化芸術、生涯学習事業を支援するための貴重な財源として、引き続き適正な管理を行います。				

事務事業名	文化団体支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果		文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
文化芸術分野の団体			3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）	
		事業費	0	0	0	
		人件費	3,722	3,722	3,724	
目 的		総事業費	3,722	3,722	3,724	
文化芸術分野の団体の活動を促進します。		5年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		0		
		合 計		0		
		3. 活動内容				
活動指標 1	名称	大和市伝統文化伝承事業実行委員会会議出席回数			単位	回
	内容説明	大和市伝統文化伝承事業実行委員会の会議の出席回数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	5	5	5	
		実 績	8	7	――	
活動指標 2	名称	団体等の後援名義使用申請件数			単位	件
	内容説明	市の後援名義使用申請件数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	30	30	30	
		実 績	26	32	――	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	
課 題						
文化団体が活動しやすい環境を維持するため、継続的な支援策の検討が必要です。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度 I：現状のまま継続
	文化芸術団体が、今後も活動を継続していけるよう、引き続き、適切な指導、助言を行っていきます。				

事務事業名	生涯学習振興基金活用支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成15年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市内を中心に活動する市民及び団体		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	1,000	500	750
	人件費	1,117	1,117	1,117
目 的	総事業費	2,117	1,617	1,867
文化芸術及び生涯学習の振興、普及を図る活動を促進します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
手段、手法【実施手法：直営】 ・市民及び団体から提案された事業について、選考会議で審査、選定を行い、生涯学習振興基金を活用して補助金を交付します。	県支出金			0
	市債			0
	その他			375
	一般財源			375
	合 計			750
3. 活動内容				
活動指標1	名称	補助金交付件数		単位 件
	内容説明	生涯学習振興補助金の交付件数		
	指標値		3年度	4年度（当該年度）
		予 定	4	3
		実 績	3	2
活動指標2	名称	選考会議開催回数		単位 回
	内容説明	生涯学習振興補助金選考会議の開催日数		
	指標値		3年度	4年度（当該年度）
		予 定	1	1
		実 績	1	1
活動指標3	名称			単位
	内容説明			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		
活動指標4	名称			単位
	内容説明			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		
課 題	生涯学習振興基金に依存した事業であるため、原資がなくなったときに、現在のような支援を継続していくべきか検討する必要があります。			

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	市民、団体が行う文化芸術や生涯学習事業に対して支援を行い、自発的かつ主体的な活動を促進するため、経済的な軽減を図っていきます。					

事務事業名	文化振興基金管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成03年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位：千円)		
文化芸術の振興に資する事業		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）			
	事業費	0	10	101			
	人件費	744	744	745			
目 的	総事業費	744	754	846			
文化芸術の振興を図るための基金を適正に管理します。	5年度事業費（予算額）財源内訳						
手段、手法【実施手法：直営】	国支出金		0				
	県支出金		0				
	市債		0				
	その他		101				
	一般財源		0				
	合 計		101				
	3. 活動内容						
活動指標 1	名称	寄附金受入れ件数			単位	件	
	内容説明	1年間に寄附金を受け入れた件数					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度		
		予 定	1	18	20		
		実 績	18	20	――		
活動指標 2	名称				単位		
	内容説明						
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度		
		予 定					
		実 績			――		
活動指標 3	名称				単位		
	内容説明						
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度		
		予 定					
		実 績			――		
課 題							
特にありません。	活動指標 4	名称				単位	
		内容説明					
		指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
			予 定				
			実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	文化芸術の振興を図る事業を安定的に実施するための貴重な財源として、引き続き適正な管理を行います。					

事務事業名	文化財保護管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
			設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
大和市内の文化財		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	236	281	1,027
	人件費	1,191	1,191	745
目 的	総事業費	1,427	1,472	1,772
文化財保護に関する事業を円滑に行います。 手段、手法【実施手法：直営】 ・文化財保護に係る庶務事務を行います。 ・県内文化財保護部局との連絡調整を行います。 ・文化財調査報告書の販売を管理します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			80
	一般財源			947
	合 計			1,027
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	報告書販売数	単位 冊
		内容説明	年間の販売冊数	
		指標値	3年度	4年度（当該年度）
			予 定	200
			実 績	200
			225	135
成 果（効果・予測） ・各種文化財保護業務が円滑に行われます。 ・県内文化財保護部局との連携が円滑に行われます。 ・報告書の販売が適切に行われます。	活動指標2	名称		単位
		内容説明		
		指標値	3年度	4年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
				―――
	活動指標3	名称		単位
		内容説明		
		指標値	3年度	4年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
				―――
課 題 特にありません。	活動指標4	名称		単位
		内容説明		
		指標値	3年度	4年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
				―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	文化財保護に関わる事務全体を円滑に進めるための基礎となっており、今後も継続していきます。					

事務事業名	文化財保護審議会等運営事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和41年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市内の文化財、指定重要文化財		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	388	438	441
	人件費	744	1,489	1,489
目 的	総事業費	1,132	1,927	1,930
市内の文化財、指定重要文化財の管理を適切に行います。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 文化財保護審議会等で文化財の指定等の重要事項を審議します。文化財保護指導委員は指定文化財の巡回調査等の地域活動を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		441
		合 計		441

3. 活動内容

活動指標1	名称	市指定重要文化財指定件数			単位	件
	内容説明	所有者等の申請後、現地等での調査を経て、必要の都度指定				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	32	32	32	
		実 績	32	32	――	
活動指標2	名称	審議会開催数			単位	回
	内容説明	指定管理運営状況の評価や指定候補文化財の調査状況の審議等				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	2	2	2	
		実 績	1	2	――	
活動指標3	名称	巡回調査件数			単位	件
	内容説明	文化財保護指導委員による巡回件数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	52	52	52	
		実 績	52	52	――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	大和市にとって重要な文化財の指定、指定文化財と文化財案内板の巡回調査は、文化財保護に必要な基礎的業務であり、今後も現状のまま進めていきます。					

事務事業名	埋蔵文化財保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法			
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
		神奈川県文化財保護条例			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和35年度				設定無し

2. 事務事業の概要									
対 象		総事業費 (単位：千円)							
市内の周知の埋蔵文化財包蔵地で開発行為等の事業を行う個人・事業者等		3年度（決算額）		4年度（決算額）		5年度（予算額）			
		事業費		7,897		8,581		8,159	
		人件費		6,551		12,955		10,426	
目 的		総事業費		14,448		21,536		18,585	
市内に存在する埋蔵文化財保護のため、開発行為等で発掘される埋蔵文化財を記録・保存します。		5年度事業費（予算額）財源内訳							
		国支出金		2,000					
		県支出金		666					
		市債		0					
		その他		0					
		一般財源		5,493					
		合 計		8,159					
手段、手法【実施手法：直営】									
・文化財保護法にもとづく埋蔵文化財関係届出書類の受理・送付を行うとともに現状調査及び事業者との協議を行います(県委譲事務)。 ・遺跡地図を作製し、事業者等が閲覧できるように周知します。 ・発掘調査を実施し、出土物の資料整理、報告書の刊行をします。 ・石器・土器などを分類整理し閲覧・活用できるようにします。		3. 活動内容							
		活動指標 1	名称	法第92条、第93条、第94条関係事務件数				単位	件
			内容説明		民間事業者・国・地方公共団体が行う開発行為に伴う手続き				
			指標値	3年度		4年度（当該年度）		5年度	
				予 定	100		100		100
成 果（効果・予測）	実 績	184		153		――			
	活動指標 2	名称	発掘調査件数				単位	件	
内容説明		市直営調査の件数							
指標値		3年度		4年度（当該年度）		5年度			
		予 定	15		15		15		
課 題	実 績	23		18		――			
	活動指標 3	名称	埋蔵文化財協議件数				単位	件	
内容説明		埋蔵文化財包蔵地範囲確認、遺跡取扱い協議等の件数							
指標値		3年度		4年度（当該年度）		5年度			
		予 定	1,200		1,200		1,000		
埋蔵文化財包蔵地に関する問い合わせが多くあることから、効果的な情報提供について検討が必要です。	実 績	1,077		940		――			
	活動指標 4	名称					単位		
内容説明									
指標値		3年度		4年度（当該年度）		5年度			
		予 定							
	実 績					――			

4. 今後の方針等					
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度
	I：現状のまま継続 市地図情報サービス等で埋蔵文化財包蔵地を周知し、埋蔵文化財の各種届出に必要な情報提供、指定文化財の情報を提供します。また、開発に関する照会・協議に対応し、発掘調査についても理解をいただきながら業務を進めていきます。				

事務事業名	民俗文化財保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
民俗文化財		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	780	722	782
	人件費	1,489	1,489	1,489
目 的	総事業費	2,269	2,211	2,271
散逸しつつある民俗文化財を後世に伝えるために、それらを調査・整理・記録し、公開します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		782
		合 計		782
手段、手法【実施手法：直営】				
収蔵民具を調査・実測し、記録を作成し、整理終了後に文化財調査報告書を刊行し、閲覧利用できるようにします。市域の古老から聞き取り調査を行い、伝承されてい				

3. 活動内容

活動指標1	名称	民具資料収集件数			単位	件
	内容説明	民具資料の寄付件数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	3	3	3	
		実 績	1	3	――	
活動指標2	名称	民具資料利用件数			単位	件
	内容説明	展示や授業等での活用のために利用した件数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	8	8	8	
		実 績	7	7	――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	収集している民具資料の記録および民俗芸能・行事等の伝承者からの聞き取り調査を実施しています。計画的に毎年少しずつ調査を行うことが大切で、集積したデータなどを記録保存し、調査成果を市民に提供していきます。					

事務事業名	史跡・天然記念物保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和38年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
史跡・天然記念物		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	554	543	2,839
	人件費	1,489	1,489	1,489
目 的	総事業費	2,043	2,032	4,328
市内に生息していた動物、植物、昆虫類の実物標本の適正な保存管理を行います。また、県・市指定天然記念物の樹木を管理します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
手段、手法【実施手法：直営】 実物標本は、つる舞の里歴史資料館で保管しています。市指定天然記念物は損害賠償責任保険に加入し、風水害等の自然災害時に巡視を行います。県指定天然記念物については、土地所有者と賃貸借契約を締結し、日常の維持管理等の事業を市が実施します。	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			2,839
	合 計			2,839

3. 活動内容

活動指標1	名称	天然記念物管理件数			単位	件
	内容説明	ケヤキ2本、タブノキ、ハルニレ、シラカシ林				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	5	5	5	
		実 績	5	5	―――	
活動指標2	名称	標本管理件数			単位	件
	内容説明	昆虫標本、植物標本				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	2	2	2	
		実 績	2	2	―――	
活動指標3	名称	樹木診断			単位	件
	内容説明	樹木医による天然記念物（樹木）の樹木診断（年1本）				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	1	1	2	
		実 績	1	2	―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	市指定天然記念物については、所有者と連絡を取り合い専門家のアドバイスを得て、良好な状態で樹木が生育できるようにしていきます。植物・昆虫標本についても適切な保存を継続します。					

事務事業名	指定文化財保護支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち			
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する			
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている			
根拠法令	名 称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度 昭和38年度		事業終了（予定）年度		事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
指定文化財所有者		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	250	290	290
	人件費	744	744	745
目 的	総事業費	994	1,034	1,035
市指定重要文化財の保護と保存管理体制の充実を図ります。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 管理者へ補助金を交付します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		290
		合 計		290

3. 活動内容

活動指標1	名称	補助金交付件数			単位	件
	内容説明	市指定重要文化財の維持管理補助金交付件数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	25	25	25	
		実 績	23	23	――	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	引き続き指定文化財の管理に対する補助金を交付していきます。					

事務事業名	郷土民家園管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 平成06年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
郷土民家園		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	10,289	10,762	10,208
	人件費	744	744	745
目 的	総事業費	11,033	11,506	10,953
市指定文化財である郷土民家園施設を適切に維持管理します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金		0	
手段、手法【実施手法：指定管理】 ・郷土民家園管理運営事業を指定管理者に委ねて実施します。	県支出金		0	
	市債		0	
	その他		0	
	一般財源		10,208	
	合 計		10,208	

3. 活動内容

活動指標1	名称	郷土民家園の入館者数			単位	人
	内容説明	園内の見学者数(自動カウンター)				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	55,000	55,000	55,000	
		実 績	42,529	34,967	―――	
活動指標2	名称	事業実施件数			単位	件
	内容説明	普及啓発事業の実施件数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	30	30	30	
		実 績	19	35	―――	
活動指標3	名称	行事参加者数			単位	人
	内容説明	園内で行った事業への参加者数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	13,000	13,000	13,000	
		実 績	9,662	11,062	―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	指定管理者による管理・運営を継続します。また、指定管理者との連絡調整及び市が実施する施設修繕を適切に実施します。					

事務事業名	つる舞の里歴史資料館維持管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	
	平成10年度			
		事業期間		
		設定無し		

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
つる舞の里歴史資料館		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	5,945	5,556	6,383
	人件費	4,518	3,902	3,994
目 的	総事業費	10,463	9,458	10,377
施設を適切に維持管理します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 施設の日常的な維持・管理事務を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		6,383
		合 計		6,383

3. 活動内容

活動指標1	名称	運営管理施設数		単位	件
	内容説明	維持管理施設の数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	1	1	1
		実 績	1	1	――
活動指標2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	施設の老朽化に伴い、修繕を始めとする必要な維持管理に努めるとともに、資料保存・資料見学・調査研究の機能を有する施設として、管理運営を進めていきます。					

事務事業名	つる舞の里歴史資料館運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成10年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	2,982	2,586	2,890
	人件費	5,134	5,390	5,484
目 的	総事業費	8,116	7,976	8,374
市民が気軽に郷土の身近な文化財に触れることができ、歴史的な探究心に応えられる機会を提供します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金		0	
手段、手法【実施手法：直営】 ・市北部の歴史資料を中心に調査・収集・展示公開するとともに、多様な文化財や歴史を紹介する企画展示、コーナー展示等を実施します。	県支出金		0	
	市債		0	
	その他		0	
	一般財源		2,890	
	合 計		2,890	

3. 活動内容

活動指標1	名称	利用者数			単位	人
	内容説明	当年度利用者数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	5,000	5,000	5,000	
		実 績	3,856	3,605	――	
活動指標2	名称	企画展示回数			単位	回
	内容説明	企画展及び三館合同企画展				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	3	3	3	
		実 績	3	3	――	
活動指標3	名称	企画展入場者数			単位	人
	内容説明	企画展及び三館合同企画展の入場者数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	1,800	1,800	1,800	
		実 績	2,681	1,226	――	
活動指標4	名称	コーナー展示回数			単位	回
	内容説明	年間実施のコーナー展示開催回数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	0	3	3	
		実 績	3	2	――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	地域の歴史資料保存という役目を果たしながら、常設展を継続し、企画展や季節ごとのコーナー展示などを行い郷土愛を醸成するための場となるような事業を行っていきます。企画展の実施内容や事前の宣伝等に関して引き続き工夫します。					

事務事業名	有形文化財保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市民		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	353	353	205
	人件費	1,489	1,489	1,489
目 的	総事業費	1,842	1,842	1,694
有形文化財を適切に保存します。 手段、手法【実施手法：直営】 ・古文書、その他の歴史資料の情報を整理して、データベースを作製します。 ・調査記録は順に文化財調査報告書として刊行します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			205
	合 計			205

活動指標1	名称	歴史資料調査件数			単位	件
	内容説明	歴史資料の調査、整理作業の件数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	2	2	2	
		実 績	2	1	――	
	活動指標2	名称				単位
		内容説明				
			3年度	4年度（当該年度）	5年度	
	指標値	予 定				
		実 績			――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	
	活動指標4	名称				単位
		内容説明				
			3年度	4年度（当該年度）	5年度	
	指標値	予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	古文書・工芸品・建造物等の有形文化財については、劣化、散逸の可能性あります。今後も継続して巡視、調査、記録しこれらの資料を市民共有の財産として将来へ継承していきます。					

事務事業名	無形文化財保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち	
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する	
	めざす成果		郷土の文化がしっかりと引き継がれている	
根拠法令	名 称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費（単位：千円）					
市民			3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）		
		事業費	614	421	544		
		人件費	1,489	1,489	1,489		
目 的		総事業費	2,103	1,910	2,033		
伝承者の高齢化などにより、失われつつある無形民俗文化財を調査し、映像で記録・保存し、市民が活用できるようにします。		5年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金		0			
		県支出金		0			
		市債		0			
		その他		0			
		一般財源		544			
		合 計		544			
手段、手法【実施手法：直営】							
市内に残る無形民俗文化財を調査し、その様子をビデオ映像として収録し、映像記録として保存を図ります。また映像を作品として編集し、市民に公開できるようにします。		3. 活動内容					
		活動指標 1	名称	撮影・編集件数		単位	件
内容説明	映像記録を撮影または編集した件数						
指標値			3年度	4年度（当該年度）	5年度		
	予 定		1	1	1		
	実 績		1	1	――		
成 果（効果・予測）		活動指標 2	名称	企画・調査件数		単位	件
伝承者の高齢化により消滅が危惧される無形民俗文化財が、映像記録として保存されます。また、編集作品は市民が閲覧し、後継者育成のために活用することができます。			内容説明	映像記録制作に向けた企画・調査の実施件数			
			指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
				予 定	1	1	1
				実 績	1	1	――
課 題		活動指標 3	名称			単位	
市内の無形民俗文化財は社会生活が変化するなかで消滅しつつあります。また、伝承者は高齢であることが多く、早急に記録していく必要があります。			内容説明				
			指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
				予 定			
				実 績			――
映像の保存について、記録媒体や方法が年々変化していくので、その方法について検討していく必要があります。		活動指標 4	名称			単位	
			内容説明				
			指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
				予 定			
				実 績			――

4. 今後の方針等					
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度 I：現状のまま継続
	社会生活の変化のなかで失われつつある無形民俗文化財を今後も映像として記録保存し、蓄積した映像記録を有効に市民に提供できるよう、映像作品を作成します。また、映像作品は無形民俗文化財の後継者などへの貸し出しや、普及啓発のために活用していただきます。				

事務事業名	文化財保管施設維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 昭和56年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
文化財保管施設		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	992	1,110	1,420
	人件費	744	744	745
目 的	総事業費	1,736	1,854	2,165
市が所有・管理する文化財を施設に収蔵し適切に保管します。また、資料整理の拠点として活用します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 施設の維持管理を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		1,420
		合 計		1,420

3. 活動内容

活動指標1	名称	維持管理施設棟数			単位	件
	内容説明	維持管理施設棟数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	2	2	2	
		実 績	2	2	――	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	適切な維持管理を行っていきます。					

事務事業名	スポーツ・よか・みどり財団支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	政策調整係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)					
交付先：（公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）		
	事業費	138,756	136,984	135,264		
	人件費	2,233	2,233	2,234		
目 的	総事業費	140,989	139,217	137,498		
（公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団の運営を支援します。	5年度事業費（予算額）財源内訳					
	国支出金		0			
	県支出金		0			
	市債		0			
	その他		0			
	一般財源		135,264			
	合 計		135,264			
手段、手法【実施手法：直営】 （公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団の運営費に対して、補助金を交付します。	3. 活動内容					
	活動指標 1	名称	補助金交付回数		単位	回
		内容説明	一年間に補助金を交付した回数			
		指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度	
			予 定	1	1	1
実 績	1	1	— — —			
成 果（効果・予測） 安定した財団運営が持続的に行われ、多くの市民に文化芸術等に親しむ機会を提供することができます。	活動指標 2	名称			単位	
		内容説明				
		指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度	
			予 定			
	実 績			— — —		
課 題 公益財団法人としての役割を担うべく、事業内容等について常に精査を行っていく必要があります。	活動指標 3	名称			単位	
		内容説明				
		指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度	
			予 定			
	実 績			— — —		
	活動指標 4	名称			単位	
		内容説明				
		指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度	
			予 定			
	実 績			— — —		

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	公益財団法人として、地域交流と社会貢献を主たる目的として公益事業を行っていくことについて、引き続き、事業内容等の助言を行っていきます。					

事務事業名	下鶴間ふるさと館維持管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成17年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				(単位：千円)			
市民			3年度（決算額）		4年度（決算額）		5年度（予算額）		
		事業費	4,114		4,440		5,106		
		人件費	5,262		4,338		4,401		
目 的		総事業費	9,376		8,778		9,507		
市民が地域史を学べたり、昔の暮らしに親しめるようにします。		5年度事業費（予算額）財源内訳							
		国支出金		0					
		県支出金		0					
		市債		0					
		その他		59					
		一般財源		5,047					
手段、手法【実施手法：直営】		合 計		5,106					
現地に復原された指定重要文化財の旧小倉家住宅母屋と土蔵を適切に管理するとともに、市民に一般公開します。		3. 活動内容							
		活動指標1	名称	運営管理施設数				単位	棟
			内容説明	維持管理施設の数					
			指標値		3年度	4年度（当該年度）		5年度	
				予 定	3	3		3	
				実 績	3	3		――	
成 果（効果・予測）	活動指標2	名称	入館者数				単位	人	
		内容説明	入館した人数						
		指標値		3年度	4年度（当該年度）		5年度		
			予 定	5,800	5,800		5,800		
			実 績	3,895	4,035		――		
	活動指標3	名称	企画展示・事業回数				単位	回	
内容説明		企画展、三館合同企画展、企画事業の回数							
指標値			3年度	4年度（当該年度）		5年度			
		予 定	6	6		6			
		実 績	6	6		――			
課 題	活動指標4	名称	年中行事展示回数				単位	回	
		内容説明	年中行事の展示を実施した回数						
		指標値		3年度	4年度（当該年度）		5年度		
			予 定	9	9		9		
			実 績	9	9		――		
地域に根差した、にぎわいのある資料館として存在できるよう、地域の方々にとって利用しやすい施設であることが求められています。									

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	年中行事等の展示、各種企画展示、地域や近隣学習施設と連携した広報活動や活用など、利用機会を周知し活用の幅を広げていきます。					

事務事業名	歴史資料提供・相談事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち	
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する	
	めざす成果		郷土の文化がしっかりと引き継がれている	
根拠法令	名 称	公文書館法(昭和63年6月1日施行)		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要								
対 象		総事業費 (単位：千円)						
市民、職員			3年度（決算額）		4年度（決算額）		5年度（予算額）	
		事業費	0		0		0	
		人件費	1,052		1,052		1,083	
目 的		総事業費	1,052		1,052		1,083	
地域の歴史・地誌・各種映像記録などについての照会・利用相談に対し回答します。		5年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金		0				
		県支出金		0				
		市債		0				
		その他		0				
		一般財源		0				
		合 計		0				
3. 活動内容								
活動指標 1	名称	資料情報提供件数					単位	件
	内容説明	資料、地図、写真などの貸出および情報提供件数						
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度			
		予 定	30	30	30			
		実 績	32	40	－ － －			
活動指標 2	名称						単位	
	内容説明							
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度			
		予 定						
		実 績			－ － －			
活動指標 3	名称						単位	
	内容説明							
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度			
		予 定						
		実 績			－ － －			
活動指標 4	名称						単位	
	内容説明							
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度			
		予 定						
		実 績			－ － －			
課 題								
歴史資料に関する問い合わせに対し、迅速に対応することが求められます。								

4. 今後の方針等					
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度 II：見直しのうえで継続
	収集した歴史情報を必要に応じて提供できるよう整理します。また、問い合わせ内容と回答の情報を集約し、検索しやすくします。				

事務事業名	文化芸術振興基本計画進行管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成23年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費			(単位：千円)
大和市文化芸術振興基本計画		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	348	231	673
	人件費	2,978	2,978	5,213
目 的	総事業費	3,326	3,209	5,886
文化芸術振興のための施策を効果的に推進します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営】 ・文化芸術振興基本計画の進行管理、改定に関する審議 を行うため、文化芸術振興審議会を開催します。		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		673
		合 計		673

3. 活動内容

活動指標1	名称	文化芸術振興審議会の開催回数			単位	回
	内容説明	文化芸術振興審議会の開催回数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	3	3	5	
		実 績	2	3	――	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	文化芸術振興審議会での審議等を踏まえ、今後も、施策目標の達成に向けた取り組みを着実に推進していきます。また、計画の進捗状況を把握、点検し、市民や文化芸術団体等から意見を伺いながら、計画の改定作業を進めていきます。					

事務事業名	新しい生活様式等対応事務（文化スポーツ部）			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	政策調整係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薰り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	令和02年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
文化スポーツ部の業務		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	5,261	3,498	3,150
	人件費	2,233	2,233	2,234
目 的	総事業費	7,494	5,731	5,384
新型コロナウイルス感染拡大を予防する「新しい生活様式」に対応します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 新型コロナウイルス感染拡大を予防するため、必要な衛生用品等の購入、施設の修繕等を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		3,150
		合 計		3,150

3. 活動内容

活動指標1	名称	衛生用品設置や環境向上修繕施設数			単位	施設
	内容説明	消毒用アルコールや検温器等の設置等。				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	15	15	15	
		実 績	15	15	―――	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	新型コロナウイルス感染症収束にむけ、基本的な感染症対策を持続していきます。					